

小学校高学年の部 優秀賞

源流太鼓のみりよく

由布市立由布院小学校 5年

たつ かわ ゆう ひ
立 川 悠 陽

由布市には色々な伝統があるが、ぼくは、中でも特に、「源流太鼓」のことを書きたいと思う。それは、ぼくが「源流太鼓」に所属しているからだ。「源流太鼓のみ力を伝えたい」という思いでこの作文を書きたいと思う。

「源流太鼓」とは、昭和54年に結成され、40年以上も由布市に続いている和太鼓チームだ。「古くから伝わる太鼓を人々に知ってもらい、地いきを元気にしたい」という思いで始まったらしい。また、このような文化を子どもたちに伝承するために結成された「ゆふいん源流少年隊」は、全日本ジュニアコンクールで優勝するなど実績がある。国内での演奏だけでなく、海外での演奏などにも招待され、海をこえて活やくする和太鼓チームだ。ぼくはこの「ゆふいん源流少年隊」に入っていて、この中で色々なみ力を感じている。これからそのみ力を紹介する。

1つ目は、「力強い太鼓の音」だ。「バチを真上に上げて素速く太鼓をたたく」ということや「体を使ってたたく」というようなことをすることで、力強い太鼓の音が出せるようになる。練習の最初の30分くらいは基本練習をする。いつも、ちゃんと速く太鼓をたたくことや、体を使ってたたくことが大切だと意識できるようにするためだ。1人だけが良いと思う演奏をするのではなく、みんなが良い演奏ができたと思えるように、助け合って、教え合えるチームワークが大切になってくる。

2つ目は全国各地のお祭りに出て、全国の人々に和太鼓の音を聞いてもらえるということだ。まだ「源流太鼓」を知らない人に、和太鼓の音を聞いてもらえたらうれしいと思う。でも、全国各地にいけるのは全国大会優勝チームだけなので、大会前の練習と大会後の練習もがんばっている。各地のお祭りで太鼓をたたき終わったあとに、色々な人から拍手とかをもらえるのもみ力の1つだ。

3つ目は世界のかけ橋になっているということだ。全国大会には台湾のチームやブラジルのチームも来る。だから「源流太鼓」のよさも知られている。また、今度は台湾に行って太鼓をたたく予定もある。そこで「源流太鼓」のよさを知ってもらいたいので、たくさん練習して、和太鼓の音を台湾の人々に聞いてもらえたらうれしいと思った。世界の人々に、和太鼓の音がとどいたらいいなって思っている。

このように、源流太鼓の3つのみ力をしょうかいした。1つ目は「力強い太鼓の音」で、2つ目は「全国各地のお祭りに出て、全国の人々に和太鼓の音を聞いてもらえる」ということ、3つ目は「世界のかけ橋にもなっている」ということだ。40年続いている「ゆふいん源流少年隊」の伝統をこれからも守っていききたい。ぜひ、この作文をきっかけに、たくさんの人々が僕たちの太鼓の音を聞いてくれたらうれしいと思う。